

赤川砂防だより



国土交通省

みんなで防ごう土砂災害

発行：新庄河川事務所
赤川砂防出張所

第115号：令和2年7月

月山地区環境配慮勉強会

建設技術研究所 石毛さん

6月23日、現場代理人と出張所職員を対象に勉強会を実施しました。

現在、田麦俣地区で工事を行っている3つの現場は磐梯朝日国立公園の区域内にあり、希少な動植物が生育、生息する自然豊かな場所です。

田麦俣地区にはどんな動植物が生育、生息しているか、工事中に必要な配慮事項や、特定外来種の植物を見つけた時の適切な処分方法など、工事中の環境配慮事項を確認しました。



長い年月をかけて育まれてきた自然環境は、一度改変されると元の状態に戻るまで非常に多くの時間を要します。

そのため工事を進めるにあたっては、環境への影響を軽減する必要があります。



朝日地域土砂災害危険区域調査

6月30日鶴岡市朝日庁舎主催の合同危険区域調査に参加しました。今年度は大針、砂川、本郷地区で土砂災害特別警戒区域に指定されている18箇所を確認しました。



点検終了後の検討会では、「今すぐに危険のある箇所は見受けられないものの、同区域で土石流・崖崩れなど複数の危険箇所が重なっている所もある。異変を見逃さないようにしたい。」「避難所について、近くて安全な場所に設置できるよう見直す必要がある。また安全に避難できるよう指導を推進しなければいけない。」など意見が上がり、災害時に関係機関が連携して対策をとれるよう確認しました。



大雨、土砂災害にご注意！

7月1日、前線の影響により鶴岡市荒沢で時間雨量49mmが観測されました。降雨が落ち着いた翌日、臨時点検を実施しましたが砂防施設等に異常はありませんでした。

また7月4日から6日にかけて、熊本県など西日本で猛烈な雨によって川が氾濫するなど、甚大な被害が出ています。いつ、どこで同じ様な雨が降ってもおかしくありません。

日頃から天気予報をチェックしたり、お住まいの地域の避難所や避難経路を確認しておくなど、いざというときに備えましょう。



避難所へ行かない場合でも、自宅二階に移動したり、斜面側の部屋からは離れるといった行動を取ることが大切です！



垂直避難

夏休み前の安全利用点検

7月14日、利用者の増加が予想される夏休みを前に「ワインパーク戸沢」の安全利用点検を実施しました。点検で見つかった改善点は当日中に修正しました。



立ち入り禁止看板がない。ロープがゆるんでいる。

立ち入り禁止看板を掲示し、ロープを張り直した。

時間雨量と土砂災害

1時間に20mm以上の強い雨が降ったり、降り始めてからの雨量が100mmをこえると、土砂災害が起こりやすくなるといわれています。

時間雨量10～20mmはやや強い雨(ザーザーと降る)、20～30mmは強い雨(土砂降り)、30～50mmになると、激しい雨(バケツをひっくり返した様な雨)と表現されます。



時間雨量30～50mm... 道路が川のようになる

気象庁提供

50～80mmになると非常に激しい雨(滝のような雨)、80mm以上にもなると猛烈な雨(息苦しくなるような圧迫感で、恐怖を感じる)と表現されます。80mmを超える雨が降ると大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。



時間雨量50mm超... 傘は全く役に立たなくなる

気象庁提供



避難や行動の目安にしてみてくださいね。

管内施設紹介

いわすげさわ

岩菅沢第七砂防堰堤 ■堤高 8.9m ■堤長 35.9m

鶴岡市田麦俣地内に岩菅沢第七砂防堰堤を整備しました。

この砂防堰堤は、沢の侵食を防ぎ、国道112号を保全する目的でコンクリートブロックを組み合わせたブロック積堰堤です。

地形に合わせて設置することが可能であり、災害復旧等の緊急性の高い箇所や地すべり地等で用いられることが多い工法です。



国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 赤川砂防出張所

〒997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合227

TEL : 0235 (53) 2841 FAX : 0235 (53) 2807

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/>



くわしくはこちらのQRコードをどうぞ！

112

赤川砂防出張所

■ 駐在所
■ 消防署
■ 旧 小野寺医院
■ あさひ小学校
■ 鶴岡市 朝日庁舎